



**「ライオンズバッジ」を
誇り、信頼・尊敬の象徴に
会員が増えるライオンズクラブにしよう**

長期会員減少の原因を考える



くまのかつゆき
熊野 活行 (63才)

今後長期に渡って「会員が増える組織」にするために、ここで一度減少の理由について考えてみたいと思います。長い年月に渡って減り続ける訳ですから、そこには何らかの原因があるはずです。

次に6項目に渡ってその本質と思われる理由を挙げました。勿論これには各人各様のご意見がある事と思いますので、是非お聞かせいただきたいと思っています。(裏面に続く)



**会員数 1ヶ台9クラブ 10名台80クラブ
20名台62クラブ これを合わせると全体の74%**

単位クラブ会員数

	クラブ数	%
1ヶ台	9クラブ	4.9
10名台	80 "	39.4
20 "	62 "	30.5
30 "	26 "	12.8
40 "	17 "	8.3
50 "	5 "	2.4
60 "	3 "	1.4
70 "	-	-
80 "	1 "	0.5
計	203 "	

長期減少の理由

1. 奉仕を目的とした団体(NPO等)が増え、ライオンズクラブでなければならない理由が希薄
2. 入会の動機が、仕事からみの人間関係中心で、奉仕という理念に対する共鳴ではなく、地域の企業経営者の交流ロビーに加わるといった傾向がある
3. 会員は中小企業経営者が中心で、その為景気の動向に影響されやすい体質がある
中でこの20年間は経済が停滞し企業環境が悪くなかった
4. それぞれの地域の中で存在感を發揮してはいるものの、ライオンズクラブの組織は原則が単位クラブで、せっかく全国に10万人の仲間がいるのにもかかわらず、それが明確な規則に基づいた組織として存在していない為、規模のパワーを生かせないでいる
5. 330-Aには20年以上に渡る対立の構図が存在していて、メンバー全員が一丸となって奉仕に取り組むという一体感が欠けている
6. ライオンズクラブという名称の知名度が低く、ライオンズマンションや西武ライオンズなどの名前がまずイメージされ、ライオンズクラブという名前が一般的に浸透していない
文責 L 杉山南見夫(東京青梅LC)

※2013年1月末現在

L熊野活行 (63才)

kkumano.com

検索